

## 草の根・人間の安全保障無償資金協力 「レンカラン地区トゥルカンギル村給水施設整備計画」署名式の実施

2018年12月19日、レンカラン地区行政局庁舎にて「レンカラン地区トゥルカンギル村給水施設整備計画」の署名式が行われました。式典には香取照幸駐アゼルバイジャン日本国特命全権大使、レンカラン地区タレフ・ガラショフ行政長をはじめ、案件を実施するローカルNGO「『グローバル人道団体』公共ユニオン」のイルハム・タヒルリ代表が参加しました。

署名式に際し、香取大使は、本件の実施により、地域住民に適切な質と量の生活用水が供給されるようになることを期待していると述べました。ガラショフ行政長は、日本国からの支援を心から歓迎しており、本件の実施により地域の生活用水事情は大幅に改善されるであろうと述べました。

同資金協力にて、レンカラン地区トゥルカンギル村での給水施設建設に89,131米ドルが供与されます。本件は、レンカラン地区における6件目の草の根・人間の安全無償資金協力事業になります。現在までに日本国大使館がアゼルバイジャン共和国で署名した案件は総計235件、供与金額は約2,000万米ドルになります。

